

亀岡のスタジアム建設：住民投票求め、3274人分の署名提出／京都

毎日新聞 2013年10月05日 地方版

亀岡市で府が計画しているスタジアム建設について、是非を問う住民投票の実現を目指す「亀岡未来づくり隊」（向井弓子共同代表）は4日、栗山正隆市長に条例制定を直接請求するのに必要な署名簿（3274人分）を市選挙管理委員会に提出した。審査や関係者縦覧などの手続きを経て本請求する。

署名活動は8月30日から1カ月間行い、有権者の50分の1（1485人）以上の要件の約2倍となる署名を集めた。づくり隊は、建設予定地を市が買い上げ、府に無償提供することへの賛否を住民投票で問いたいとし、一帯に生息する国の天然記念物「アユモドキ」の保護計画や市の財政負担などの情報も市民に提供されていないと訴える。台風18号の大雨被害以降は治水への関心の高まりもあり、署名が増えたという。

向井代表らは署名簿提出後、亀岡市役所で会見。「スタジアム計画が大きな問題を抱えていることに多くの人が気づいた。一人一人の思いを行政や議員の皆さんは真摯（しんし）に受け止めてほしい」などと話した。【富永浩三】